

第 1 回の練習問題の解説・解答例

※ R_2 と R_3 の合成抵抗を R_{23} のように表すことにする。

問題 1

(1) 合成抵抗値

$$R_{23} = \frac{R_2 R_3}{R_2 + R_3}$$

$$= \frac{3 \times 7}{3 + 7}$$

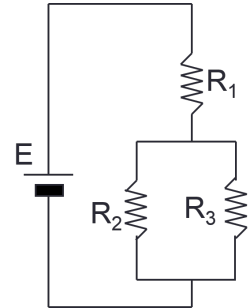
$$= \frac{21}{10}$$

$$= 2.1[\Omega]$$

$$R_{123} = R_1 + R_{23}$$

$$= 1.9 + 2.1$$

$$= 4.0[\Omega]$$



$$R_1 = 1.9 [\Omega]$$

$$R_2 = 3 [\Omega]$$

$$R_3 = 7 [\Omega]$$

$$E = 19[V]$$

(2) 消費電力

電圧 E が合成抵抗 R_{123} にかかっている

抵抗 R_1 を流れる電流 I_1 (= 電源 E を流れる電流)

$$I_1 = \frac{E}{R_{123}}$$

消費電力の公式

$$P = VI$$

$$\boxed{\text{電力}[W] = \text{電圧}[V] \times \text{電流}[A]}$$

$$P = EI_1$$

$$= E \frac{E}{R_{123}}$$

$$= \frac{E^2}{R_{123}}$$

$$= \frac{19^2}{4}$$

$$= 90.25[W] (\cong 90[W])$$

問題 2

書き換えると問題 1 と同じ形の回路になる

方針としては

1. 並列部分の合成抵抗 R_{01} を求める

$$R_{01} = \frac{R_0 R_1}{R_0 + R_1}$$

2. 全体の合成抵抗 R_{012} を求める

$$R_{012} = R_{01} + R_2$$

3. I_2 を求める

$$I_2 = \frac{E}{R_{012}}$$

4. V_2 を求める

$$V_2 = R_2 I_2$$

5. $V_0 (= V_1)$ を求める

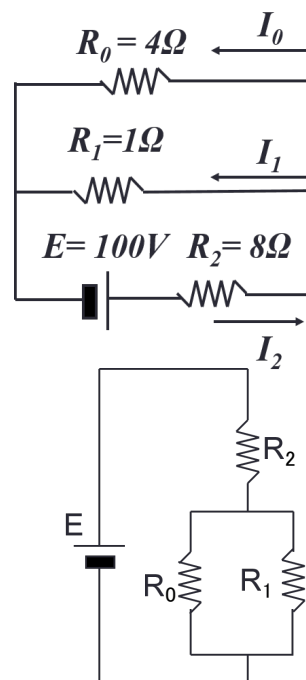
$$V_0 = E - V_2$$

6. I_0 を求める

$$I_0 = \frac{V_0}{R_0}$$

ここでは全部一気に代入して計算してみると

$$\begin{aligned} I_0 &= \frac{E - R_2 \frac{E}{\frac{R_0 R_1}{R_0 + R_1} + R_2}}{R_0} \\ &= \frac{100 - 8 \frac{100}{\frac{4 \times 1}{4 + 1} + 8}}{4} \\ &= 2.3 \text{ [A]} \end{aligned}$$



問題 3

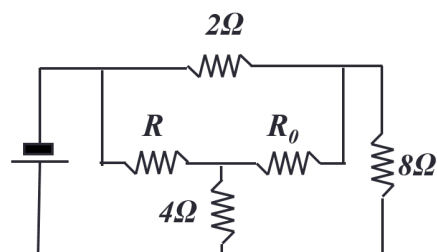
一見複雑だが、ホイートストンブリッジと呼ばれる、既知の抵抗 2 個と可変抵抗 1 個を使って未知の抵抗 R を調べるために使われる回路と同じ

詳細は [ホイートストンブリッジ](#) [検索](#)

$$4:8 = R:2$$

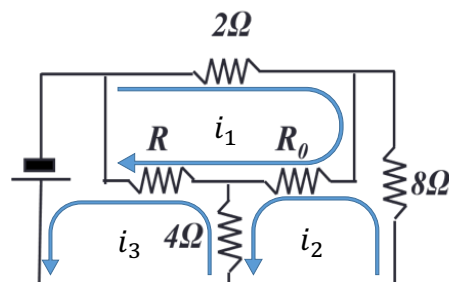
$$8 \times R = 4 \times 2$$

$$R = 1$$



問題 3 (キルヒホッフの法則による解法)

右の図のようにループ電流 $i_1 \sim i_3$ を定義する。
各閉ループについて回路方程式を次のように求める。



$$\begin{cases} 0 = (2 + R + R_0)i_1 + R_0i_2 + Ri_3 \\ 0 = R_0i_1 + (12 + R_0)i_2 - 4i_3 \\ E = Ri_1 - 4i_2 + (4 + R)i_3 \end{cases} \quad \dots (1)$$

R_0 を流れる電流は 0 であるから次式が成り立つ。

$$\begin{aligned} i_1 + i_2 &= 0 \\ i_2 &= -i_1 \quad \dots (2) \end{aligned}$$

これを式(1)に代入すると次のようになる。ただし、回路方程式中の第 3 式は R の導出に必要なため省略する。

$$\begin{cases} 0 = (2 + R)i_1 + Ri_3 \\ 0 = -12i_1 - 4i_3 \end{cases} \quad \dots (3)$$

式(3)の第 2 式を i_3 についてまとめると次式が得られる。

$$i_3 = -3i_1 \quad \dots (4)$$

式(4)を式(3)の第 1 式に代入し整理すると次のようになり、 R を求めることができる。

$$\begin{aligned} 0 &= (2 + R)i_1 - 3Ri_1 \\ 0 &= (2 - 2R)i_1 \\ R &= 1 \text{ } [\Omega] \end{aligned}$$

問題 4

(1)

10Ω と 90Ω の並列合成抵抗を求めるときに出くわす式の形

「並列合成抵抗の逆数は個別の抵抗の逆数の和に等しい」ので

$$\begin{aligned} \frac{1}{R'} &= \frac{1}{10} + \frac{1}{90} \\ R' &= \frac{1}{\frac{1}{10} + \frac{1}{90}} \\ &= \frac{10 \times 90}{\frac{10 \times 90}{10} + \frac{10 \times 90}{90}} \\ &= \frac{10 \times 90}{90 + 10} \text{ (以上が面倒ならここから始めてよい)} \\ &= \frac{900}{100} \\ &= 9 \end{aligned}$$

(2)

$\log_n x$ は対数関数で、指数関数 n^x とは逆関数の関係にある

例えば……

$$\log_{10} 10000 = 4 \leftrightarrow 10^4 = 10000$$

$$\log_{10} 10 = 1 \leftrightarrow 10^1 = 10$$

$$\log_{10} 1 = 0 \leftrightarrow 10^0 = 1$$

$$\log_{10} 0.1 = -1 \leftrightarrow 10^{-1} = 0.1$$

$$\log_{10} 0.0001 = -4 \leftrightarrow 10^{-4} = 0.0001$$

$$\log_2 32 = 5 \leftrightarrow 2^5 = 32$$

$$\log_2 2 = 1 \leftrightarrow 2^1 = 2$$

$$\log_2 1 = 0 \leftrightarrow 2^0 = 1$$

$$\log_2 \frac{1}{2} = -1 \leftrightarrow 2^{-1} = \frac{1}{2}$$

$$\log_2 \frac{1}{32} = -5 \leftrightarrow 2^{-5} = \frac{1}{32}$$

(3)

$$\sin x \rightarrow \text{微分} \rightarrow \cos x$$

$$\cos x \rightarrow \text{微分} \rightarrow -\sin x$$

$$\sin x \rightarrow \text{積分} \rightarrow -\cos x + C$$

$$\cos x \rightarrow \text{積分} \rightarrow \sin x + C$$

$\int_a^b \sim dx$ とは「～の部分にある x を変数とみなして a から b の区間で積分する」という意味
計算方法は次の通り

$$\begin{aligned} \int_0^\pi \sin x \, dx &= [-\cos x]_0^\pi \\ &= (-\cos \pi) - (-\cos 0) \\ &= (-(-1)) - (-1) \\ &= 1 + 1 \\ &= 2 \end{aligned}$$

問題 5

